



LISZT FRIENDS

特定非営利活動法人 リスト音楽院友の会 会報
NO. 2

2007年 9月4日発行

発行元：
特定非営利活動法人 リスト音楽院友の会
〒500-8879 岐阜市徹明通1丁目9番地
TEL 058-264-1501 FAX 058-262-8011
E-mail: kota@lisztfriends.mydns.jp
URL: <http://www.geocities.jp/lisztfriends/>

NPO法人としての立ち上げコンサートを終えて



猛烈に暑かった夏もようやく過ぎようとしています。皆様如何お過ごしでしょうか。事務報告にもありますように、立ち上げコンサートはいずれも大盛況でした。会員の皆様の御協力に心から感謝する次第です。演奏者、聴衆が一体となった素晴らしい時間でした。今後もこうした実績を一つ一つ積み上げ、音楽を楽しむ人の輪が広がり、生きることへの励ましを得ていけることを願っています。今後とも手を携えて前進していきましょう。

特定非営利活動法人 リスト音楽院友の会
会長 矢島 潤一郎

特定非営利活動法人 リスト音楽院友の会について（定款より）

目的：この法人は、日本からハンガリーのリスト音楽院に留学した演奏家、及びリスト音楽院の演奏家、また日本でのリスト音楽院との交流事業、及びハンガリーでの日本との音楽交流事業の活動に対して、演奏会やその他音楽事業の主催・共催や後援、およびその運営または活動に関する連絡、助言又は援助に関する事業を行い、クラシック音楽の文化芸術の振興、及びハンガリーとのリスト音楽院を通じた国際交流に寄与することを目的とする。

事業：この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 演奏会等の音楽事業の主催及び共催事業。
- 演奏会等の音楽事業の後援及び支援事業。
- リスト音楽院との交流事業の運営の支援事業。
- リスト音楽院との交流活動事業。
- 機関誌および音楽出版物の刊行事業。
- その他目的にかなう事業。

役員近況

理事・会長 矢島 潤一郎（矢島法律事務所 所長、元岐阜県弁護士会 会長）

NPO法人の会長に就任以来、今後の展望を広い視野で見据えながら、着々と的確な指示やアドバイスを出し、会のトップとして、その主導性を発揮している。

理事・副会長 古川 展生（東京都交響楽団 首席チェロ奏者）

今回の主催事業「NPO法人設立記念コンサート」のリサイタルで、盟友との共演をたいへん楽しみに、東京都交響楽団首席チェロ奏者として活躍、またデビュー10周年記念コンサートを各地で展開中。

理事・副会長 横森 俊雄（岐阜県歯科医師会 副会長、岐阜市歯科医師会 会長）

本業の役職で、連日連夜飛び回り、理事会や主催事業には、日程が重なって出席できないことが多いが、その顔の広さを生かして、会のアピールに欠かせない役割を担っている。

理事：事務局長 太田 功正（医療法人正仁会 丸宮歯科 理事長）

事務局長として、NPO法人立ち上げから、主催事業などの事務を全て担当し、次々と持ち上がる諸問題を処理して、その実務の経験を着々と積み上げている。

理事 新井 康之（名古屋フィルハーモニー交響楽団 チェロ奏者）

初の主催コンサートの企画を担当し、その大成功に一息つく間もなく、超多忙な演奏活動を続けている。

理事 浅野 諭（学校法人 電波学園 あいちビジネス専門学校 教務部長）

NPO法人設立から会員・役員となり、今後の会の発展のために担う役割と企画事業を立案している。

監事 奥住 信治（公認会計士 奥住信治事務所 所長、日本公認会計士協会 岐阜県会長）

本職の重要な役務のために、日夜奮闘中で多忙を極めるが、当法人への貢献は、さらに益々意欲盛んである。

2007年度の事業

主催事業 終了報告

ぎふ・リスト音楽院マスターコース2007 懇親会

2007/8/7 [火] 7:00 pm 開宴 真鍋記念館クララザール (岐阜市本郷町 1-28)
会費: 一般3,000円<軽食・飲物付>
(リスト音楽院友の会会員2,000円マスターコース受講生1,000円 演奏入場料1,000円)
演奏: 大藪 祐歌(ピアノ) 波多野 有紀(ヴァイオリン) 星野 智也(チェロ)



「ぎふ・リスト音楽院マスターコース2007」を支援するため、この事業に関係する方々、受講生のみならず、リスト音楽院に留学した本会の演奏家会員、および一般会員、さらにはクラシック音楽を愛好する市民のみならずとの、交流の機会を設けようと、この懇親会を企画・開催しました。

あいにく、リスト音楽院の3教授は、メルサホールでの飛騨クラス修了生の発表会と重なり、ご出席できませんでしたが、約70名の皆様が来場されました。元青森放送アナウンサー・高瀬亜貴子さんの司会で始まり、オープニング演奏として、大藪祐歌さんのピアノ演奏 リスト: 巡礼の年 第二年補遺「ヴェネチアとナポリ」より「ゴンドラを漕ぐ女」から始まり、ヴァイオリンの波多野有紀さんと大藪さんのバルトーク: ヴァイオリンとピアノのためのラブソディー第一番。最後に、現在リスト音楽院のデュプロマ・コースに在学中で一時帰国中のチェロの星野智也さんが加わり、シューベルト: ピアノ三重奏曲 第二番 変ホ長調 Op.100 より第一楽章 アレグロを演奏してくださいました。約40分間、熱心な聴衆のみならず大きな拍手と花束が贈られ、演奏家の皆さんの華麗な演奏を楽しめました。

その後、懇親会に移り、矢島潤一郎・会長の挨拶のあと、「ぎふ・リスト音楽院マスターコース2007」を主催する財団法人岐阜県教育文化財団の堀博行・課長より、ご挨拶と乾杯のご発声をいただきました。ビールやジュースなどの飲物で喉を潤しながらのお食事となり、それぞれに懇談の輪が広がりました。途中、波多野有紀さんのヴァイオリンのBGM演奏もあって、なごやかな懇親会となりました。最後に太田功正・事務局長のお礼の挨拶でお開きとなりました。

リスト音楽院フェスティバル2007 ~ハンガリー狂詩曲、

そして偉大なるチェリストの思い出のために~

2007/8/9 [木] 6:30 pm 開場 7:00 pm 開演
ザ・コンサートホール (名古屋・伏見 電気文化会館)
料金: 3,000円 [全自由席] リスト音楽院友の会 会員 2,000円
出演: 新井 康之(チェロ) 原田 綾子(ピアノ) 古井 麻美子(ゲスト出演・ヴァイオリン)

「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」期間中に、毎年開催しているリスト音楽院修了生によるコンサート。今回は、愛知県出身・在住の演奏家会員の出演で、愛知県で活躍されている優秀な演奏家を招いて、名古屋市のザ・コンサートホールで開催しました。ご来場者のみならず、開場前から列をなし、主催者の予想をはるかに上回る約300名のかたがたに来ていただき、大盛況でした。

コンサートは、ピアノの原田綾子さんのリスト: 愛の夢をオープニングに、ピアノと新井康之さんのチェロのバルトーク、リスト、ポッパーの3曲のハンガリー・ラブソディー、休憩後、今回ゲスト出演のヴァイオリン古井麻美子さんが加わったアレンスキーのピアノトリオ第一番。そのプログラムと演奏は、聴衆を魅了し大好評となり、とくに招待した視覚障害者の方々からは、たいへんな感激と感謝のお言葉をいただきました。

NPO法人の立ち上げ申請と、ほぼ同時進行で準備した、初の主催コンサートは、おかげをもちまして、大成功のうちに終えることができました。(最終ページに、出演者のひとり、新井康之さんの随想と写真が掲載してあります。)

主催事業 予告

NPO法人リスト音楽院友の会 設立記念

古川展生 チェロリサイタル - 望郷~盟友とともに -

2007/12/9 [日] 1:30 pm 開場 2:00 pm 開演
メルサホール(岐阜メルサ ファッション館8F)
料金: 指定席A 4,000円 指定席B 3,000円 [全席指定](ワンドリンク付)
(リスト音楽院友の会会員、会員割引あり)
出演: 古川展生(チェロ) 共演: 佐部利 弦(ピアノ)

日本からリスト音楽院に留学した多くの演奏家のうち、1996~1998年に留学し、いま若手チェリストの中で人気、実力ともにナンバーワンの、当法人・副会長 古川展生のチェロリサイタルを、桐朋女子高校、桐朋学園大学の同期生で、2001~2005年に留学した岐阜市在住の佐部利 弦をピアニストに、メルサホールにおいて、特定非営利活動法人 リスト音楽院友の会 設立記念コンサートとして開催します。

演奏家会員の後援コンサート

NEW 村上 優、エチュードによるピアノコンサート

2007年9月9日(日) 13時30分開演 エルおおさかブチエル(大阪市)

NEW 秋山哲也 ピアノ リサイタル

2007年12月16日(日) 14時30分開演 パストラルかぞ小ホール(埼玉県加須市)

2008年 1月20日(日) 14時30分開演 すみだトリフォニー小ホール(東京都墨田区)

終了 坂田 すみれ ピアノリサイタル

2007年4月25日(水) 19時開演 パルテノン多摩 小ホール(東京都)

終了 リスト音楽院の仲間たち

2007年6月14日(木) 19時開演 カワイ表参道2F・パウゼ(東京・青山) 出演: 松尾綾(ピアノ) 南部麻里(ピアノ) 上法閑(チェロ) 鈴木千恵子(ピアノ) 山田玲子(ピアノ) 津嶋啓一(ピアノ)

終了 辻 和余 ヴァイオリン リサイタル

2007年8月25日(土) 19時開演 真鍋記念館クララザール(岐阜市) ピアノ: 佐部利 弦

演奏家会員の支援コンサート

NEW 大藪 祐歌 ピアノ リサイタル 「水の戯れ」

2007年9月9日(日) 17時開演 長久手町文化の家 森のホール(愛知県長久手町)

終了 近江 秀崇 ピアノ リサイタル

2007年4月3日(火) 18時30分開演 電気文化会館 ザ・コンサートホール(名古屋)

終了 寺岡えりか チェロ & 金澤亜希子 ピアノ

2007年4月28日(土) 15時開演 かじまちヤマハホール(浜松市)

2007年5月 2日(水) 19時開演 すみだトリフォニーホール 小ホール(東京都)

終了 松田 奈緒美 ソプラノ リサイタル

2007年5月19日(土) 18時開演 フィリアホール(横浜市)

ピアノ: 大藪 祐歌

終了 フェデリーコ・アゴスティーニ ヴァイオリン リサイタル

2007年6月23日(土) 16時開演 メルサホール(岐阜市)

ピアノ: 佐部利 弦

2007年度理事会報告

2007年度第2回理事会

日時: 2007年7月23日(月) 7:00pmより9:00pmまで 場所: 事務局3F

出席者: 矢島会長、太田事務局長、浅野理事、奥住監事、

古川副会長(会長に委任)、横森副会長(会長に委任)、新井理事(会長に委任)

協議議題:

- 1) 主催事業: 8月7日(火) 真鍋記念館クララザールでの「ぎふ・リスト音楽院マスターコース懇親会」の運営の件。
- 2) 主催事業: 8月9日(木) 名古屋・伏見・ザ・コンサートホールでの「リスト音楽院フェスティバル2007」の運営の件。
- 3) NPO法人立ち上げ時備品購入助成金申請の件

まず、太田事務局長から、今年夏の「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」期間中に、当法人が主催する、8月7日(火) 真鍋記念館クララザールでの「ぎふ・リスト音楽院マスターコース懇親会」の開催の具体的準備状況について報告があり、各役員の方針について協議し、了承された。次いで8月9日(木) 名古屋・伏見 ザ・コンサートホールでの「リスト音楽院フェスティバル2007」の具体的準備とチケットの販売状況について、事務局より報告があり、コンサートの成功に向けて、さらに役員全員でそれぞれ最大限の努力することを確認した。さらに、NPO法人立ち上げ時備品購入助成金で購入した備品と、その申請書類について、協議し了承された。(議事録署名者: 太田事務局長、浅野理事)

2007年度第3回理事会

日時: 2007年8月22日(水) 7:00pmより8:30pmまで 場所: 事務局3F

出席者: 矢島会長、太田事務局長、浅野理事、佐部利 弦会員(古川副会長の委任代理)

横森副会長(会長に委任)、新井理事(会長に委任) 欠席: 奥住監事

協議議題:

- 1) 主催事業: 8月7日(火) 真鍋記念館クララザールでの「ぎふ・リスト音楽院マスターコース懇親会」の報告と決算の件。
- 2) 主催事業: 8月9日(木) 名古屋・伏見・ザ・コンサートホールでの「リスト音楽院フェスティバル2007」の報告と決算の件。
- 3) 主催事業: 12月9日(日) メルサホール(岐阜市) で開催する「古川展生チェロリサイタル」の準備状況と予算の件
- 4) 今年度の他の事業予定の件。

8月7日と9日に行われた、それぞれの主催事業の概要報告と決算について太田事務局長より報告があり、それら事業の大成功を祝うと同時に次回からの課題について協議された。次いで12月9日(日) 開催予定の主催事業「古川展生チェロリサイタル」についての、具体的準備状況と予算について協議され、出演者の古川副会長の代理で出席した共演者の佐部利会員より、種々の提言があり、コンサート成功に向けて、事務局長を中心に準備を進めることが了承された。また、今年度のその他の主催事業の企画予定について協議が行われ、岐阜県との協働事業、NPO法人立ち上げ時期助成事業、企業文化助成事業など、さまざまな企画の構想が話し合われ、その実現に向けて努力していくことが合意された。(議事録署名者: 太田事務局長、浅野理事)

随 想

旗揚げコンサートを終えてー ＜新井康之のブログより抜粋＞

新井 康之

8月9日は電文ザ・コンサートホールでピアノトリオ他。

このホールで弾くのは実に10年振り位！懐かしいなあ。舞台全体を包む柔らか～い感覚。特に装飾的なものも無いんだけど、何かココの舞台は好き。

ホームページにも載せましたが、私はバルトーク：ラブソディ第1番とポッパー：ハンガリー狂詩曲とアレンスキー：ピアノ三重奏曲第1番を弾いてきました。

お蔭様でコンサートは大盛況。およそ300人の入場者数で、今回NPO法人リスト音楽院友の会の旗揚げコンサートにしては大成功だったのでは無いでしょうか。

お客様も本当にマナーが良く（前列下手のカメラオジサンを除く！）とても良い雰囲気の中で演奏をする事が出来ました。

アレンスキー、作曲家自体があまり知られていないのでどうかと思いましたが、曲自体はとても聴きやすく隠れた名曲。でも実は弾くには「？」な部分が多く、練習中は、3人でアーダーコード。特に弦はトレモロ系のワケメカブ部分が多くて一苦労。

ピアノの原田さんとは本当に昔～からの長い付き合いで、お互いの音楽の事は言わずとも分かり合える仲になっていると勝手に思っているのですが（一方的？笑）ヴァイオリンの古井さんとは室内楽今回初。初合わせのときから、私の知らなかった新しい引き出しが古井さんからドンドン出てくる。

う～ん、とても勉強になりました（まだ決定で無いですが、古井さんとは近く何処かでマルチニュー&コダーイの二重奏を弾く計画中です）

重ね重ね、電文へ応援に来てくれた皆様、本当にありがとうございました。

